

エコアクション21 環境活動レポート

2017年度

運用期間 2016年10月～2017年9月



大崩れ海岸 浜当目トンネルH29.3.13開通(坑内排水工施工)

新井工業株式会社

作成日:2018年5月18日

目次

1.	組織の概要、実施体制	1
2.	環境方針	4
3.	環境目標	5
4.	環境活動計画	6
5.	環境目標の実施と評価	8
6.	環境活動計画の取組結果の評価、次年度の取組内容 ..	9
7.	環境活動取組状況(写真)	11
8.	環境関連法規等の遵守状況	15
9.	代表者による全体評価と見直しの結果	16

1.組織概要、実施体制

1) 事業所及び代表者名

新井工業株式会社
代表取締役 新井 邦仁

2) 所在地

- ・事務所
〒425-0066
静岡県焼津市大島775-2
- ・資材置場
〒425-0066
静岡県焼津市大島775-4
- ・駐車場
〒425-0066
静岡県焼津市大島775-4

3) 事業の内容

土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、しゅんせつ工事業、水道施設工事業

4) 事業の規模(平成29年度)

創立年……………昭和59年
事業年度……………10月～9月
社員数……………6人
売上高……………16553万円
事務所面積……………48.02m²
資材置場面積……………50.09m²
駐車場面積……………47m²
産廃収集運搬量……………0t(今年度は実績なし)

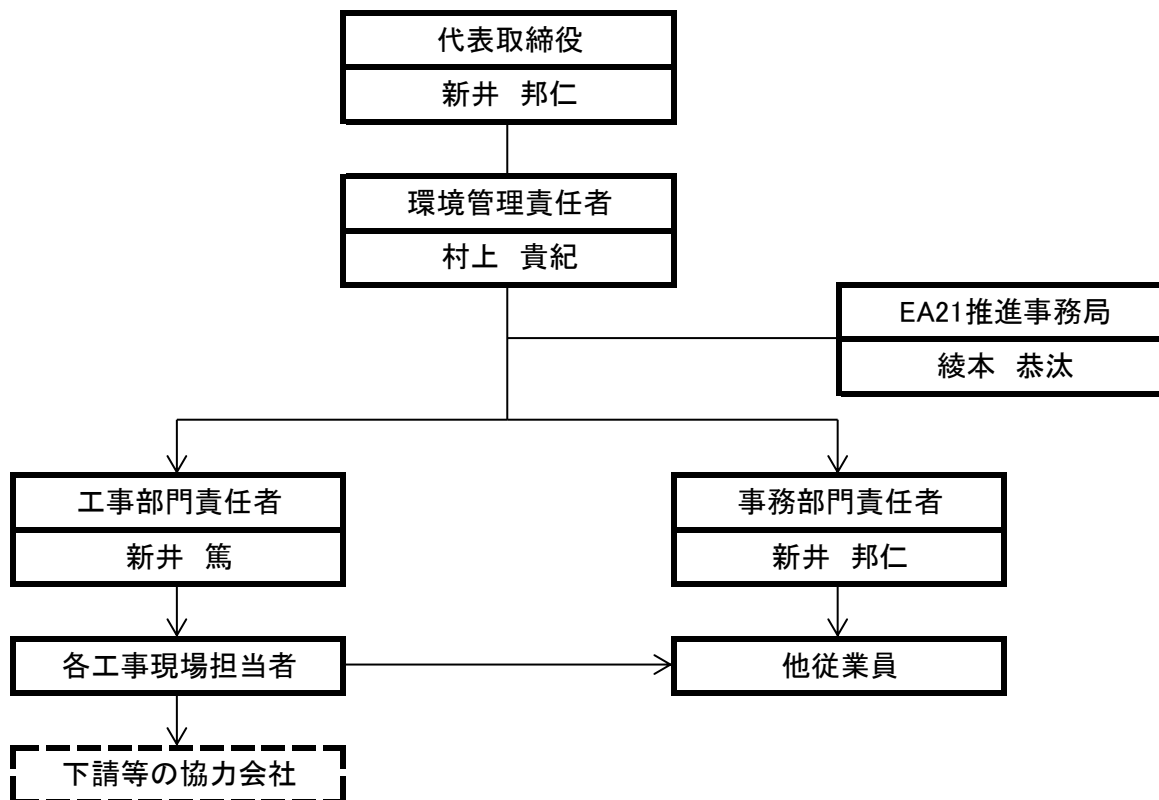
5) 環境管理責任者氏名、連絡先

環境管理責任者:村上 貴紀
連絡先:TEL 054-624-8000
FAX 054-624-8027
E-mail: arai-murakami@nifty.com

6) 許可・資格

- ・静岡県知事許可、一般建設業(23)第21208号
土木工事業、とび・土工工事業、ほ装工事業
しゅんせつ工事業、水道施設工事業
有効年月日:平成28年度12月6日～平成33年12月5日まで
- ・産業廃棄物収集運搬許可 (今年度は実績なし)
第02201155634(静岡県許可)
有効年月日:平成27年8月9日～平成32年8月8日
- ・廃棄物の種類
廃プラスチック類、金属くず、コンクリートくず及び陶磁器くず
ガラスくず、がれきくず、木くず
- ・許可車両一覧
別紙参照
- ・有資格者一覧
別紙参照

実施体制



担当	役割・責任・権限
代表者(代表取締役)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任者 環境管理責任者の任命 環境方針の策定 環境目標、環境活動計画、環境活動レポートの承認 EA21実施における、人材、設備等の提供 環境経営システムの見直し、評価
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、運用、維持に関する実務上の責任者 環境関連法規等の取りまとめ票の承認 環境目標、環境活動計画、環境活動レポートの確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告
EA21推進事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境目標、環境活動計画、環境活動レポートの作成・公開 環境活動の実施・集計 環境関連法規等の取りまとめ票の作成 環境関連法規等の取りまとめ票に基づく評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
各部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> 各部門における環境経営システムの実施 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 各部門における環境方針の周知 各部門の従業員に対する環境教育の実施 各部門に関する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 問題点のチェック及び予防処置の実施
各工事現場責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境負荷の適正管理 現場における緊急事態への対応のための訓練の実施、記録の作成 現場における作業員及び下請等の協力会社への環境方針の周知
他従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境活動計画に従い、環境目標達成のための活動

有資格者一覧表

◎土木施工管理技士

- ・一級土木施工管理技士 2名
- ・二級土木施工管理技士 3名

◎舗装施工管理技者

- ・一級舗装施工管理技術者 1名
- ・二級舗装施工管理技術者 1名

◎管工事施工管理技士

- ・一級管工事施工管理技士 1名

◎職長教育

- ・職長教育 3名

◎建設機械施工技士

- ・二級建設機械施工技士 1名

◎監理技術者

- ・監理技術者 2名

◎安全衛生教育

- ・安全衛生責任者 2名

◎給水装置工事主任技術者

- ・給水装置工事主任技術者 2名

産業廃棄物収集運搬許可車両

◎4tダンプトラック 1台

- ・日野 静岡 11 ひ 55-76 (積載量 3850kg)

◎2tダンプトラック 1台

- ・日野 静岡 400 さ 89-39 (積載量 2000kg)

環境方針

基本理念

新井工業株式会社は、土木工事業を行っており、社員1人1人が地球・環境について常に意識し活動を行っています。さらに循環型社会に貢献するため、人や自然にやさしく、環境保全につながる様な取り組みを、社員一丸となって進めていく企業経営を目指しています。

行動方針

1. 事務所内、工事現場での節電、節水に取り組み、電気、水道の使用量の削減に努めます。
2. 工事現場の作業における騒音、振動などの地域住民に対する配慮を心がけます。
3. エコドライブ、省エネに努め、燃料消費量、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
4. 工事現場での資材や事務用品のグリーン購入を推奨し、社内書類は裏紙の使用に努めます。
5. 3R(Reduce・Reuse・Recycle)を心がけ、廃棄物等の削減、ゴミの分別、リサイクルに努め、循環型社会に貢献します。
6. 環境関連の教育を行い、従業員の環境に対する意識の向上を図ります。
7. 環境関連法令を遵守します。

新井工業株式会社
代表取締役 新井 邦仁 (印)

制定日:2010年 9月30日
改定日:2012年10月 1日

3.環境目標

- ・2012年度(H23.10月～H24.9月)を基準年と設定し、水色で示し、目標値を黄色で示す。
- ・対象工事は300万円以上の工事とし、排出量は数値を現場数で割ったもの(排出量/件)とする。
- ・今年度の対象現場数は10件とする。
- ・電力係数は0.486(kg-co2/kwh)を使用する。

項目	単位	基準年 (現場:15件)	目標		
		2015年	2016年	2017年	2018年
◎二酸化炭素排出量		毎前年度目標値より1%ずつ削減			
購入電力	kwh	1524.00	1508.76	1493.67	1478.74
	kwh/件	101.60	100.58	99.58	98.58
ガソリン	ℓ	3733.85	3696.51	3659.55	3622.95
	ℓ/件	248.92	246.43	243.97	241.53
	ℓ/100万円	30.14	29.84	29.54	29.25
軽油	ℓ	9139.00	9047.61	8957.13	8867.56
	ℓ/件	609.27	603.18	597.15	591.17
	ℓ/100万円	73.79	73.05	72.32	71.60
二酸化炭素	kg-co2	33771.05	33433.34	33099.01	32768.02
	kg-co2/件	2251.40	2228.89	2206.60	2184.53
	kg-co2/100万円	272.67	269.94	267.24	264.57
◎廃棄物排出量		毎前年度目標値より1%ずつ削減			
一般廃棄物	kg(全体数量)	66.00	65.34	64.69	64.04
	kg(焼却処分量)	43.00	42.57	42.14	41.72
産業廃棄物	t	525.93	520.67	515.46	510.31
	t/件	35.06	34.71	34.36	34.02
	t/100万円	4.25	4.21	4.17	4.12
◎排水量		毎前年度目標値より1%ずつ削減			
水使用量	m3	52.00	51.48	50.97	50.46
	m3/件	3.47	3.44	3.40	3.37

項目	目標
◎グリーン購入	
エコ商品の導入	事務用品や現場資材でコストの増加が少ないものを導入する。 (年間で事務用品は10品目を目安とする。)
◎地域貢献活動	
地域貢献活動への参加	工業会や地域の活動に積極的に参加する。
◎現場の環境配慮	
現場内外で行う環境配慮	環境活動計画に記載されている項目の実施。 (現場の工種等により対応する。)

※100万円当たりの数量の式: 項目の(全体数量/請負金額合計(二次製品を除く))*1000000

4.環境活動計画

環境活動計画表	担当者	実施計画											
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
【電気使用量について】		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
・エアコンの設定温度の指定(夏27℃以上、冬24℃以下)	新井邦仁												
・業務上支障がでない程度にエアコンの使用を控える	新井邦仁												
・照明のこまめな消灯	新井邦仁												
・使用していないパソコンの電源OFF	綾本恭汰												
・昼、休憩時の照明などの電源OFF	綾本恭汰												
・休日等の電子機器の主電源OFF	新井邦仁												
・照明、エアコンなどの節電シール張付による意識付け	綾本恭汰												
・コピー機などのOA機器は省エネ機器をなるべく買う	新井邦仁												
【排水量について】		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
・食器の洗浄や手洗いの時こまめに水を止める	新井邦仁												
・節水コマの取付をし節水する	新井邦仁												
・給水管からの漏水がないか点検する	新井邦仁												
【燃料消費について】		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
・急発進、急停止をしない	新井篤												
・アイドリングストップを心がける	新井篤												
・エコカー又は低燃費車の導入予定	新井邦仁												
・現場重機の省エネ運転の実施	新井篤												
・車、ダンプ、重機等のエアコンの使用を控える	新井篤												
・タイヤの空気圧チェック	新井篤												
・いらない荷物、資材等は乗せない	新井篤												
・現場へのルートは計画的に設定し走行距離を減らす	新井篤												
【廃棄物排出量について】		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
・コピー用紙の裏面の利用	新井邦仁												
・印刷時ミスプリントの削減	新井邦仁												
・電子マニフェストの実施	村上貴紀												
・廃棄物の分別の徹底	村上貴紀												
・材料発注時にあまりがでないようにする	村上貴紀												
【現場での環境配慮について】		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
・環境配慮を取り入れた施工の提案※	各現場監督												
【グリーン購入について】		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
・現場の資材や事務用品はなるべくエコマーク商品を導入する	新井邦仁												
【ボランティアについて】		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
・草刈りやゴミ拾いのボランティアへの積極的な参加	村上貴紀												

※環境配慮取り入れた施工の提案内容は次のページに記載

(現場での環境配慮について)

環境活動計画内容	担当者
【環境配慮を取り入れた施工の提案】	
・工事看板や安全掲示板は静岡県の間伐材等を使用する。	各現場監督
・取壊し工などの施工中に振動や騒音を現場周辺で計測して、記録し、住民対策をする。	各現場監督
・低騒音、排出ガス対策型、ハイブリットの重機を使用する。	各現場監督
・河川工事等の水辺での工事の時に重機からの作動油の河川への流失が起こった場合の対策として、油の吸着マットや油の分解材や作動油を生分解性グリスの使用などを検討する。	各現場監督
・河川工事で河川内で生コン打設がある場合に水質のチェックとして、生コンの打設前、打設後に打設箇所の下流でPH試験紙を使用し水質のチェックを記録する	各現場監督
・区画整理や道路工事等の施工の掘削工の時に湧水があり、それを水中ポンプで水替えを行う時に、そのまま排水はせず、ノッチタンクやドラム缶で簡易な装置を作り、泥を沈澱させてから、排水する等の処置をする。	各現場監督
・現場でCo2管理ソフトを使用し、バックホウの稼働時間から現場でのCo2は排出量を割り出し、開始時に積算から割り出した設計値からだした目標値と比べて燃料の消費量削減やCo2削減に貢献する。	各現場監督
【社員、下請会社への環境教育の実施】	
・上記の環境配慮等について施工計画に反映し実行する。	各現場監督
・ダンプ等の過積載防止の徹底。	各現場監督
・現場で発生した、一般廃棄物、産業廃棄物の分別の徹底。	各現場監督
・現場で使用する、石鹼や洗剤等の消耗品は詰め替えが可能なものを使用する。	各現場監督
・現場開始時と現場施工中に下請会社に対し、環境活動に対する訓練や会議を行い、現場での環境意識を高めるようにする。	各現場監督
・社員の教育を3か月に一回のペースで行い、目標に対する達成率や活動の見直しを行う。	各現場監督
・工事書類や社内の回覧等の書類はできる限り電子化し、ペーパーレス活動を行う。	各現場監督

5.環境目標の実績と評価

削減率=実測/目標*100=〇〇%→100%-〇〇%=削減率%

◎二酸化炭素排出量			評価 ○・・・目標達成 ×・・・目標未達成		
項目	単位	目標値	実測値	削減率	評価
購入電力	kwh	1493.67	1921.00	+28%	×
	kwh/件	99.58	192.10	+92%	×
ガソリン	ℓ	3659.55	2347.40	-35%	○
	ℓ/件	243.97	234.74	-3%	○
	ℓ/100万円※	29.54	18.12	-38%	○
軽油	ℓ	8957.13	5011.00	-44%	○
	ℓ/件	597.15	501.10	-16%	○
	ℓ/100万円※	72.32	38.68	-46%	○
二酸化炭素	kg-co2	33099.01	21738.19	-34%	○
	kg-co2/件	2206.60	2173.81	-1%	○
	kg-co2/100万円※	267.24	167.81	-37%	○

購入電力について、特別に使いすぎたわけではないが目標の値を上回ってしまったので、節電等を再度確認していきたい。ガソリン・軽油はともに目標を達成することができたが、比較的現場の場所が近かったこと、下請業者を使った現場が多かったことが一番の理由だと思う。

二酸化炭素はすべての内容において目標を達成できたので、今後もエコ運転やアイドルングストップ等を継続していきたい。

◎廃棄物排出量			評価 ○・・・目標達成 ×・・・目標未達成		
項目	単位	目標値	実測値	削減率	評価
一般廃棄物	kg(全体数量)	64.69	62.00	-4%	○
	kg(焼却処分量)	42.14	60.00	+42%	×
産業廃棄物	t	515.46	165.50	-67%	○
	t/件	34.36	16.55	-51%	○
	t/100万円※	4.17	1.27	-69%	○

ミスプリントの抑制等は昨年に引き続き実現できたと思う。

一般廃棄物について、詰め替え可能なものを積極的に取り入れて削減を目指したい。

産業廃棄物について、今年度は産業廃棄物がでる工事が例年より少なかったことが大幅削減の理由であると思われる。

比較するには難しいが、今後も現場サイドでの意識づけを継続していきたい。

◎排水量			評価 ○・・・目標達成 ×・・・目標未達成		
項目	単位	目標値	実測値	削減率	評価
水使用量	m3	50.97	9.00	-82%	○
	m3/件	3.4	0.90	-73%	○

今年度も目標を達成することができた。次年度も細目な節水や漏水等の点検をしっかりと行っていきたい。

◎グリーン購入		評価 ○・・・目標達成 ×・・・目標未達成	
項目		評価	
エコ商品の導入		○	

今年度も目標を達成することができたので、エコ商品の導入を増やしていけるようにしていきたい。

◎地域貢献活動		評価 ○・・・目標達成 ×・・・目標未達成	
項目		評価	
地域貢献活動への参加		○	

毎年行っている地域の活動に参加できたので、これからも積極的に参加していきたい。

◎現場の環境配慮		評価 ○・・・目標達成 ×・・・目標未達成	
項目		評価	
現場内外で行う環境配慮		○	

各現場で対応できる環境配慮を行うことができた。

引き続き継続したい。

6.環境活動計画の取組状況と その評価、次年度の取組内容

2016.10～2017.9

環境活動計画表	取組結果とその評価、次年度の取組内容
【電気使用量について】	
・エアコンの設定温度の指定(夏27℃以上、冬24℃以下)	今年度も設定温度を守り、節電をしっかりできていたので来年も継続する。
・業務上支障がでない程度にエアコンの使用を控える	徹底できたので来年も継続する。
・照明のこまめな消灯	徹底できたので来年も継続する。
・使用していないパソコンの電源OFF	徹底できたので来年も継続する。
・昼、休憩時の照明などの電源OFF	徹底できたので来年も継続する。
・休日等の電子機器の主電源OFF	徹底できたので来年も継続する。
・照明、エアコンなどの節電シール張付による意識付け	徹底できたので来年も継続する。
・コピー機などのOA機器は省エネ機器をなるべく買う	今年度の導入はなかった。
【排水量について】	
・食器の洗浄や手洗いの時こまめに水を止める	徹底できたので来年も継続する。
・節水コマの取付をし節水する	取り付けを検討したい
・給水管からの漏水がないか点検する	点検等を定期的に行い、漏水が無いよう管理した。
【燃料消費について】	
・急発進、急停止をしない	徹底できたので来年も継続する。
・アイドリングストップを心がける	徹底できたので来年も継続する。
・エコカー又は低燃費車の導入予定	今年度の導入はなかった。
・現場重機の省エネ運転の実施	各現場ともCO2管理を行えたので継続したい。
・車、ダンプ、重機等のエアコンの使用を控える	徹底できたので来年も継続する。
・タイヤの空気圧チェック	徹底できたので来年も継続する。
・いらぬ荷物、資材等は乗せない	徹底できたので来年も継続する。
・現場へのルートは計画的に設定し走行距離を減らす	徹底できたので来年も継続する。
【廃棄物排出量について】	
・コピー用紙の裏面の利用	徹底できたので来年も継続する。
・印刷時ミスプリントの削減	徹底できたので来年も継続する。
・電子マニフェストの実施	電子マニフェストでない相手もいるので今は紙と両立している。
・廃棄物の分別の徹底	徹底できたので来年も継続する。
・材料発注時にあまりがでないようにする	徹底できたので来年も継続する。
【現場での環境配慮について】	
・環境配慮を取り入れた施工の提案※	新しい環境配慮等を検討し取り入れていきたい。
【グリーン購入について】	
・現場の資材や事務用品はなるべくエコマーク商品を導入する	備品など導入できているので来年も継続する。
【ボランティアについて】	
・草刈りやゴミ拾いのボランティアへの積極的な参加	参加できたので継続した参加する。

※環境配慮取り入れた施工の提案内容は次のページに記載

(現場での環境配慮について)

2016.10～2017.9

環境活動計画内容	取組結果とその評価、次年度の取組内容
【環境配慮を取り入れた施工の提案】	
・工事看板や安全掲示板は静岡県の間伐材等を使用する。	今年度も導入には至らなかったため、来年度は導入できるようにしたい。
・取壊し工などの施工中に振動や騒音を現場周辺で計測して、記録し、住民対策をする。	今年度も住宅地の中での取壊し等がなかったため未導入。
・低騒音、排出ガス対策型、ハイブリットの重機を使用する。	例年通り排出ガス対策型の重機等で施工できた。次年度も継続。
・河川工事等の水辺での工事の時に重機からの作動油の河川への流失が起こった場合の対策として、油の吸着マットや油の分解材や作動油を生分解性グリスの使用などを検討する。	今年度も河川等、水辺での工事が多く、各現場吸着マットを常備し緊急時に備えることができた。次年度も継続。
・河川工事で河川内で生コン打設がある場合に水質のチェックとして、生コンの打設前、打設後に打設箇所の下流でPH試験紙を使用し水質のチェックを記録する。	今年度も河川工事等でPHを計測する試験紙を購入し河川内での生コン打設がある日に管理をし緊急時には関係各所に連絡できるようにした。次年度も継続。
・区画整理や道路工事等の施工の掘削工の時に湧水があり、それを水中ポンプで水替えを行う時に、そのまま排水はせず、ノッチタンクやドラム缶で簡易な装置を作り、泥を沈澱させてから、排水する等の処置をする。	今年度も湧水等がある工事が無く導入には至らなかった。来年度以降で湧水がある現場があれば実線する。
・現場でCo2管理ソフトを使用し、バックホウの稼働時間から現場でのCo2は排出量を割り出し、開始時に積算から割り出した設計値からだした目標値と比べて燃料の消費量削減やCo2削減に貢献する。	今年度も例年通り各現場管理を行うことができたので、次年度以降も積極的に使用し、Co2削減に努めたい。
【社員、下請会社への環境教育の実施】	
・上記の環境配慮等について施工計画に反映し実行する。	各現場毎に対応するものを検討し実行できた。
・ダンプ等の過積載防止の徹底。	各現場毎に過積載防止の処置ができた。
・現場で発生した、一般廃棄物、産業廃棄物の分別の徹底。	各現場毎に徹底できたので来年も継続する。
・現場で使用する、石鹼や洗剤等の消耗品は詰め替えが可能なものを使用する。	各現場毎に徹底できたので来年も継続する。
・現場開始時と現場施工中に下請会社に対し、環境活動に対する訓練や会議を行い、現場での環境意識を高めるようにする。	今年度も下請け、直営を含め、安全訓練時に環境意識を高めるよう教育し環境に対する意識の向上に努めることができた。
・社員の教育を3か月に一回のペースで行い、目標に対する達成率や活動の見直しを行う。	3ヶ月毎に数値を確認して、その結果等を評価できたので、来年も継続していきたい。
・工事書類や社内の回覧等の書類はできる限り電子化し、ペーパーレス活動を行う。	役所がまだペーパーレスに対応していないので工事書類等はまた紙ベースで提出している。社内ではなるべくデータで書類等を共有してペーパーレスを行うことができた。

7.環境活動取組状況

・パソコン主電源OFF



・エアコンの温度設定



・節電の呼び掛け



・余分な蛍光灯の取り外し



・エコ運転の呼び掛け



・節水の呼び掛け



・ミスマッチの裏面利用の促進



・一般ごみの分別の徹底



現場施工状況写真

150号道路新設工事
路床盛土転圧状況



石脇川護岸改修工事
根固め工施工完了



134BL整地工事
盛土転圧状況



焼津漁港防舷材設置工事
防舷材設置状況



浜当目トンネル坑内排水工設置工事
トンネル坑内側溝据付状況



現場施工状況写真

石脇川護岸改修工事

着手前



石脇川護岸改修工事

完成



150号道路新設その3工事

管渠据付工事



瀬戸川浚渫工事

河床掘削工事



0104号道路舗装工

表層敷均し状況



8.環境関連法規等の遵守状況

1.環境関連法規等の遵守状況

当事業所に運用される環境関連法規の遵守状況を確認した、結果、違反はありませんでした。

法規制度の名称	該当する要求事項 (対応すべき事項)	条項 (法律・施行令)	該当する設備・項目	遵守評価	
				証明書	判定
廃棄物処理法	・委託基準 産廃収集運搬 ・処理業者の許可確認、契約書の締結	法12条の4	産業廃棄物 (がれき類、ガラスくず・ コンクリートくず及び陶 磁器くず、金属くず、廃 プラスチック類、木くず)	契約書 許可書	○
	・マニフェスト交付 A,B2,D,E票の保管(5年間) B2,D票90日 E票180日以内に送付され ない場合は30日以内の知事への報告	法12条の3 法12条の5		マニフェスト	○
	・産業廃棄物管理票交付等状況報告書 の提出			報告書	○
静岡県・静岡市 産業廃棄物の 適正な処理に 関する条例	・実地、中間処分場の確認 ・責任者選定と表示 ・掲示板の表示 ・記録の保管			写真 確認 報告書	○
建設リサイクル法	・委託基準 産廃収集運搬 ・処理業者の許可確認、契約書の締結 ・建設工事に係る資材の再資源化等 に関する法律 ・マニフェスト交付 A,B2,D,E票の保管(5年)B2,D票90日 E票180日以内に送付されない場合は30日 以内の知事への報告	法2条 法12条の4 法12条の3 法12条の5			○
振動規制法	静岡県生活環境の保全に関する条例 ・特定機種、場所、作業時間、作業日の届出	法14条第1項			-
騒音規制法	静岡県生活環境の保全に関する条例 ・特定機種、場所、作業時間、作業日の届出	法14条第1項			-
オフロード法	・申請届出				-
グリーン購入法	・できる限り環境物品等を選択するよう努め	法5条	購入品・調達品 購入先・外注先		○
資源有効利用促進法	・環境型経営システムの構築		製品等の3R		-
フロン排出抑制法	・エアコンの簡易点検の実施		エアコン		○

9.代表者による全体評価と見直しの結果

代表者による全体の評価・見直し記録表				代表者	新井邦仁	
				作成年月日	H30.4.1	
評価 関連 情報	項目		確認	必要に応じて評価・コメント記載		
	記入者:新井邦仁					
	1	環境方針	<input checked="" type="checkbox"/>	購入電力は、目標未達成となったが、現場の特質性から毎年極端に増減するので、今後は、目標値の設定の仕方を考えたい。		
	2	環境目標及び目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/>	一般廃棄物においては、大幅に増えているが、この点においては、削減する余地が大いにあるので、今後は、意識を高めて、削減に努めたい。		
	3	環境活動計画及び取組の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/>	その他の項目は、達成できているので、今後も頑張りたい。		
	4	環境関連法規等の遵守状況	<input checked="" type="checkbox"/>	成果の得られなかった項目においては、原因を追及し、改善取り組みを行う必要がある。大幅に成果があった項目に関しては、更に改善点がないか検討するとともに、目標設定が適切であるかも検討する。		
	5	環境コミュニケーションの活動・記録	<input checked="" type="checkbox"/>	遵守している。		
	6	問題点の是正・予防処置の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/>	良好であると考えます。		
7	その他()	<input type="checkbox"/>	最近では、新しい環境対策のアイデアがあまり出なくなってきたが、エコミーティングを行うことで、問題意識を全社員で共有出来たと思う。			
8		<input type="checkbox"/>				
代表者による 全体の 評価 見直し	全体の評価・コメント		エコアクションを始めてから、社員のエコ意識も高まり、会社でも現場でも、以前よりかなり無駄を無くすことが出来てきたと思う。 また、現場での施工管理も、環境の配慮を考えた管理をするようになった。 今後は、ペーパーレス及び作業の効率化の観点から、タブレットの使用が有効性を検討し、導入も視野に検討していきたい。			
	見直し項目		変更の必要性	指示事項等		
	1	環境方針	無			
	2	環境目標	有	購入電力及び産業廃棄物の目標設定をどのように設定するのが妥当か検討する。一般廃棄物においては、裏紙の使用や詰め替え可能な物を積極的に使用し、削減に努めていきたい。		
	3	環境活動計画	有	環境対策のアイデアがより多く出るように、他業種の取り組みも、取り入れられるものがないか積極的に参考にしていきたい。		
	4	組織の概要	無			
5	環境活動レポート	無				